

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP  
World Supersport rd.1 Phillip Island Grand Prix Race Report

## flag-to-flagルールが採用されたフィリッパ일랜드決勝 大久保 光はKawasakiキャリアで最上位の6位でチェッカー

2019年度スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) 決勝がフィリッパ일랜드で開催された。今大会のWorld Supersportクラスに関してはflag-to-flagルールを採用する事をFIMとDorna WSBKオーガナイザーより事前にアナウンスされていた。公式テストでトラックコンディションとレースコンディションにおけるタイヤ寿命について懸念があると判断された為である。レース周回数は16周に短縮され、タイヤが10周を超えて使用しない条件下で、ピットストップが義務付けられるルールである。チーム戦略やライダーの思惑がピットインのタイミングにはっきりと反映され、レース中の順位変動も激しくなる可能性が高く、ハイレベルなレース展開が予想される。ここまで決勝を見据え、調整を続けてきた大久保光。ウォームアップで最終確認を行い、Kawasaki勢トップとなる8番グリットより決勝へ望む。

決勝日も朝から晴天、気温26度の中、午前11時15分に決勝がスタート。大久保は絶妙なスタートダッシュを決め、1コーナーで6番手へポジションアップ。セカンドグループを引っ張る形でレースが進行。3周目、大久保の前方でマシンがハイサイドを起こし転倒。大久保はイン側から間髪を置かずクリアし、一時5位まで順位を上げる走りを見せる。中盤に差し掛かるとトップグループがタイヤ交換の為、一斉にピットに飛び込む。大久保は8周目を終えた所で2番手ポジションからピットへ。

全てのライダーがピットインを終えた10周目時点では8番手を走行。表彰台を目指し大久保はプッシュを続ける。残り3周時点で6番手争いを大久保を含めた3台のバトルがスタート。最後の最後までプッシュした大久保がこのバトルを制し、Kawasaki勢トップ、そしてKawasakiキャリアとして最高位の6位でチェッカーを受けた。

### ■大久保 光

「表彰台を狙っていたので正直悔しい部分はあります。しかし、過去3年間フィリッパ일랜드で完走出来ていなかった事と、World Supersportのキャリアで最上位の6位完走出来た事を考えると素直に嬉しいです。自分の実力不足を感じる部分がありましたが、今回のリザルトは自分のベストを出し切れた結果だと思います。また、次戦タイに向けての課題もハッキリしました。タイのChang International Circuitは非常に好きなサーキットです。ここで表彰台を狙える様、一度日本に帰国し、しっかりトレーニングを積んでレースに挑みたいと思います。

皆様、引き続き応援よろしくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>

Kawasaki Puccetti Racing PuccettiRacing puccettiracing

Hikari Ookubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>

hikariokubo78 hikari\_No78 hikariokubo78